

平成21年4月30日

各 位

会 社 名 **スターツコーポレーション株式会社**
 代表者の役職名 **取締役社長 河野 一孝**
(J A S D A Q ・ コ ー ド 8 8 5 0)
 問い合わせ先 **経理部長 村松 久行**
 T E L (0 3) 6 2 0 2 - 0 3 7 7

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期通期(平成20年4月1日~平成21年3月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成21年2月9日発表)	117,000	7,700	6,800	250	5円21銭
今回修正(B)	121,500	7,400	6,450	500	10円42銭
増減額(B-A)	4,500	300	350	250	-
増減率	3.8%	3.9%	5.1%	100.0%	-

(ご参考) 前年同期実績

平成20年3月期	135,096	7,010	6,281	1,461	30円54銭
----------	---------	-------	-------	-------	--------

【連結業績修正の理由】

売上高につきましては、建設事業におきまして当期受注高が順調に推移いたしました結果、前回予想と比べまして当期完工高は約2,000百万円増加する見込みであります。

また、財務内容の透明性を高めるために、介護・保育事業を手がけておりますスターツケアサービス株式会社及び当社グループのIT部門を担っております株式会社ウィーブの2社を新たに連結範囲に追加する見込みであります。この結果、売上高につきましては前回予想と比べまして、4,500百万円増加し121,500百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、建設事業における当期完工高の増加に伴う増益が見込まれる一方で、仲介・賃貸管理事業における売買仲介事業におきまして、昨今の不動産市況のなかでも取扱件数は堅調に推移してまいりましたものの、取引価格の下落に伴い、手数料収入は前回予想を下回る見込みであります。この結果、営業利益は前回予想と比べまして300百万円減少し、7,400百万円(前期比390百万円増加)となる見込みであります。

經常利益につきましては、営業利益の変動によるほか為替差損等の計上によって、前回予想と比べまして 350 百万円減少し、6,450 百万円（前期比 169 百万円増加）となり、当期純利益につきましては、これまで開示してまいりました投資有価証券評価損等財務内容の健全化のため特別損失として約 4,500 百万円の計上を予定しておりますが、法人税等を見込んだ結果、前回予想と比べまして 250 百万円増加し、500 百万円となる見込みであります。

2. 個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	經常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A） （平成20年11月7日発表）	3,900	1,150	850	50	1円4銭
今回修正（B）	4,000	1,200	660	350	7円29銭
増減額（B - A）	100	50	190	300	-
増減率	2.6%	4.3%	22.4%	600.0%	-

（ご参考）前年同期実績

平成20年3月期	4,453	1,832	1,185	728	15円22銭
----------	-------	-------	-------	-----	--------

【個別業績修正の理由】

売上高及び営業利益につきましては、前回予想と比べましてほぼ変動はありませんが、經常利益につきましては、為替差損の計上に伴い、前回予想と比べまして 190 百万円減少し、660 百万円となる見込みであり、法人税等を見込んだ結果、当期純利益につきましては前回予想と比べて 300 百万円増加し、350 百万円となる見込みであります。

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報にもとづいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上